

## 2013年 日韓道路橋維持管理セミナー開催報告

土木学会国際センター、国際交流グループ韓国グループでは、日韓の建設技術・人の交流、建設技術の協働展開を目的に2013年度よりセミナー等の企画・実施を両国で行うことにしています。



JSCE 磯部次期会長（左）と  
KSCE 沈会長（右）

朴慶夫元韓国分会長、李東郁韓国分会長のご尽力を賜り、韓国土木学会（以下KSCE）との共催、韓国道路公社及び韓国建設技術研究院の後援による「日韓道路橋維持管理セミナー」を平成2013年12月23日にKSEC講堂にて開催いたしました。今回のテーマは、昨年9月の全国大会国際シンポジウムのテーマである「維持管理」の一つとして道路橋を取り上げました。磯部雅彦次期会長は、開催前の12月21日には沈名弼KSCE次期会長（今年1月より会長）、セミナー直前に沈鐘成KSCE会長を表敬し、日韓の技術協力や交流促進等について意見交換をするとともに、本年11月の100周年事業への協力と参加を要請し、お二人ともに快諾されました。



土木学会 国際センター  
韓国 Gr.リーダー  
江上 和也

セミナーでは、冒頭に沈鐘成会長、磯部雅彦次期会長が開催の挨拶をされました。お二人とも日韓双方の技術・文化等の面での協力や交流の促進、海外展開等が重要であり、様々な分野での一層の交流が不可欠とお話されました。続いて、日本からは渡辺博志氏（土木研究所）と奥井義昭教授（埼玉大学）、韓国からは丁海文氏（韓国道路公社）と朴璟勳氏（韓国建設技術研究院）がそれぞれの専門の立場で発表しました。



講演する奥井教授



セミナー参加者の記念写真

朴慶夫元分会長の司会により、発表者および田中洋氏他3名が加わり、道路橋の維持管理に関して全体討論会が行われました。討論会では、日韓双方の新しい知見や技術に関して活発な議論が行われました。KSCE側として参加していただいた田中氏は、韓国三星物産という韓国最大手の建設会社に勤務し、韓国内の建設技術に詳しく、日本と韓国をつなぐ役割を担っていただきました。なお、当日の通訳は、朴宰満（(株)Jiseng 専務理事）にお願いしました。朴氏は、早稲田大学で土質を学び、韓国で活躍されています。今回のセミナーでも韓国在住の日本人技術者、日本の大学や研究機関に留学経験等がある韓国人技術者等が多数参加され、日本と韓国との技術面でのつながりは強いことを改めて感じました。

また、過去から現在までも様々なところで日韓の技術交流等が本学会を含め行われてきています。今年の6月には海岸工学の国際会議がソウルで、8月には西部支部、韓国分会とKSCE、CICHE（中国土木水利工程学会(台湾)）によるセミナーが釜山で開催されます。また、来年4月には韓国大邱で「世界水フォーラム」が開催されます。今回を1回目として、毎年日韓双方で様々な分野での技術交流を継続していくことが、日本の建設技術の海外展開や国内へのフィードバックにもつながること、人的ネットワークが構築されていくことを期待します。最後に今回のセミナー開催に当たりまして、朴慶夫元分会長、李東郁分会長のご尽力、KSCEのご協力に感謝いたしますとともに、視察等でアテンドいただいた沈名弼次期会長、K-WATERの皆様に謝意を申し上げます。